

気づき、考え、実行する さし人つうしん

唐津市立佐志小学校
学校だよりNO.8
令和5年7月7日
文責：校長 松野克己

5年生・3つの体験学習

6月中旬から5年生が3つの体験学習を行ってきましたのでご紹介します。(地引き網と自然体験学習の紹介文は5の1担任の門川先生に書いてもらいました。)

地引き網体験

6月22日(木)は朝から、幸多里ヶ浜まで徒歩移動をし、地引き網での漁を体験しました。事前に水産振興センターの方から佐志の海に住む生き物のことについて教えてもらい、この日はいよいよ実践です。曇り空の中、子ども達は漁師のみなさんのアドバイスを受けながら、唐ワンくんの応援のもと、波打ち際でしっかりと網を引き寄せました。海の中に入って網を引いたり、かけ声をかけたり…魚の姿が見えてくると大きな歓声があがっていました。色々な種類の魚が網の中に入り、実物を見ながら魚の名前を教えてもらいました。そのあとは、海の環境保護活動としてゴミ拾いをしました。10分ほどしか活動できなかつたのですが、空き缶・ペットボトル・発泡スチロール容器など、子ども達も驚くほど砂浜に打ち寄せられており、5年生全員で10袋以上のゴミを集めました。獲れた魚は家へ持ち帰りましたが、自然の恵みをおいしく召し上がられたでしょうか。また、体験の様子は各メディアの方々に取材を受けておりましたので、ご覧になられたことと思いますし、お子さんから体験した様子を聞かれたことと思います。



活動の振り返りでは、「これからもきれいな海にしていきたい」と話してくれました。5年生は海洋学習を通して、故郷である唐津の海について学びます。次週の自然体験学習や今後行われるワカメの養殖などと共に、子ども達ときれいな海を守るため一緒に考えていきたいです。

唐津の海の幸 たくさん取れたね

取れた魚を網から籠へ移す子どもたち



取れた魚を網から籠に移すと、県玄海水産振興センターの職員が「一番多く取れたのはマダイ。大きいものは体長80センチにもなります」「ヤズからブリなど、成長するにつれて呼び名が変わる魚を出世魚と

佐賀玄海漁協唐津統括支所の唐房地区の青年部十数人が地引き網(全長460メートル)を準備し、海上から漁船で網を仕掛けた。ライフジャケットを着て軍手をはめた子どもたちは二手に分かれ、約200メートル沖から浜辺に続く網を力を合わせて引いた。

唐津市佐志浜町の市立佐志小学校の5年生約40人が22日、近くの幸多里の浜で地引き網を体験した。マダイやブリ、イサキ、ヒラメなどたくさん魚が取れ、子どもたちは大喜びだった。

佐志小40人 幸多里の浜で地引き網体験

地引き網体験は、総合的な学習の時間「海の世界について考えよう」の一環。子どもたちは地元の漁業などについて勉強しており、今後、ヒラメの稚魚の放流やワカメの養殖にも取り組むという。

(神谷裕司)

参加した稲葉紫月さん(11)は「網が重くて指が痛くなったけど、楽しく引けた。魚がたくさん入っていたのでびっくりした。学校の近くでこんなに魚が取れるとは」と話していた。

子どもたちは最後に浜辺の清掃にも取り組み、取れた魚を持ち帰った。

「います」などと説明した。

子どもたちは最後に浜辺の清掃にも取り組み、取れた魚を持ち帰った。

網を引く子どもたち一いずれも唐津市・幸多里の浜

網を引く子どもたち一いずれも唐津市・幸多里の浜

網を引く子どもたち一いずれも唐津市・幸多里の浜

網を引く子どもたち一いずれも唐津市・幸多里の浜

網を引く子どもたち一いずれも唐津市・幸多里の浜

網を引く子どもたち一いずれも唐津市・幸多里の浜

朝日新聞に記事が掲載されました

自然体験学習

28日・29日の自然体験学習…出発前の雷雨にどうなることかと不安になりましたが、日頃の5年生のみんなの行いが良いので、無事に予定通りの日程を終えることができました。



波戸岬少年自然の家に着いた時の空はどんよりとした曇り空。最初の活動『アウトドアビンゴ』そして『ニュースポーツ体験』、『野外炊飯』の時には晴れ間も見えました。湿度も気温も高い中、適度に休憩も取りつつ、活動に臨んでいました。『ナイトウォーク』も終え、汗びっしょりになった子ども達。1日目の活動が終わった後、みんなで入るお風呂も楽しかったようで、心も体もスッキリ！夜はぐっすり！でした。2日目もお天気がどうだろうかと心配していましたが、『カッター体験』も無事にできました。みんなで合わせてオールを漕ぐまでに一苦労しましたが、復路は自分たちで声をかけ合ってタイミングをはかりつつ、上手に漕ぐことができました。午後は活動班で考えたレクリエーション、

名護屋へ来た戦国武将クイズ、佐賀県や学校についてのクイズ、漢字クイズやビンゴ、ジェスチャーゲームなど、みんなが楽しめて学べる内容を披露していました。今回のニュースポーツで体験した種目の一つ『ポッチャ』のクラス対抗戦を行い、すべての活動を終えました。子ども達は「楽しかった！」と言っていました。この体験が子ども達を成長させているはず。今後に期待して、これからも一緒に頑張ろうと思います。



今回の自然体験学習では、『自然の中で集団生活を通して自律、協力、友愛の精神を養う。』を学習の目的として、「落ち着いて・自分で考えて・みんなで声かけ合って」行動することができていました。カッター体験・野外炊飯など普段では味わえない貴重な体験は、子ども達にとって良き思い出になったことと思います。活動の振り返りでは、何人もの子ども達が「これからの生活に役立てたいです。」と感想を述べていました。安全に活動が終えられたのは、お家の方々のご協力のおかげです。ありがとうございました。

海上保安庁による命の授業



7月5日(水)、海上保安庁の方に来ていただき、救急救命講習も含めた授業をしていただきました。最初は海上保安庁の仕事について、ビデオによる説明がありました。やや難しい内容でしたが、海の安全を守るという海上保安庁の役割は理解できたと思います。その後「離岸流」についての説明がありました。離岸流はご存じでしょうか。海の中には陸から沖に向かった潮の流れがあり、この潮にのってしまえば、どんどん沖に流されてしまうのが離岸流です。秒速2m程度の速さですから、その向きに逆らって岸に戻るのは困難だそうですし、万一この離岸流にのってしまったら、横方向に泳ぐことで脱出できるそうです。海水浴に行く際には覚えておくといいですね。

最後に救急救命の学習として、心肺蘇生やAEDについて体験しながら学びました。こちらにも、そういうことが必要な場に遭遇しないことが一番ですが、万一のためにも知っておきたいことです。私たち佐志小職員も7月21日(金)の午前10時から唐津消防署の方にこの救急救命講習を受けます。保護者の方でもしお時間が取れる方は一緒にご参加ください。

まもなく夏休み。水の事故が心配されます。決して子どもだけで海や川で遊ばないことを必ず守ってほしいものです。事故にあっては取り返しがつきませんから。

